

JForest

森林組合だより

平成30年9月1日
発行
第 120 号



平成30年度 連絡員会議

本荘由利森林組合

由利本荘市水林381

TEL 0184-24-4141(代) FAX 0184-24-4143

HP <http://www.honmori.com/> メール honmori@trad.ocn.ne.jp



連絡員会議では連絡員の皆さまから多数ご質問がありましたので、主なものを掲載させていただきます。

《大内地区 佐々木氏》

Q、ナラ枯れ被害が多くなっている。どのような対策を行っているのか。面積はどのくらいか。

A、昨年は誰でもわかるくらい真つ赤になった。今年は、葉っぱが落ちてあまり目立たない状態になっている。

連絡員会議では連絡員の皆さまから多数ご質問がありましたので、主なものを掲載させていただきます。

- 一、指導・総務事業関係
 - ・ 賦課金のお知らせ
 - ・ 年間行事計画
 - ・ 組合員異動手続き
- 二、林産販売・丸棒加工事業関係
 - ・ 木材価格の推移
 - ・ 西目センター共販市況
- 三、製材・パイオ事業関係
 - ・ 平成29年度西目製材所稼働状況
 - ・ 平成29年度〜30年度パイオマス稼働状況
- 四、造林事業関係
 - ・ 平成30年度造林補助事業について

7月4日（水）西目のシーガルを会場に平成30年度連絡員会議を開催しました。

今年度は連絡員122名、役員19名のほか、来賓として、森づくり推進課藤田課長、並びに、真崎班長、田村班長、村川班長のご出席をいただきました。

会議は小松組合長の挨拶に始まり、日頃のご苦労とご協力に対してお礼を申し上げるとともに、今後とも引き続き組合員との重要な連絡役として務めて下さるようお願いしました。

また組合からは次の事項について報告しました。

平成30年度 連絡員会議開催

防除事業をやってはいるが追いつかないのが現状。（森づくり推進課）2、3年で1万本の被害が確認されている。県内では18市町村に広がっていて、北上している。被害が点在しているため、面積での把握は難しい状況にある。

市で決めた守るべきナラ林を中心に防除事業を実施している。



《岩城地区 伊藤氏》

Q、間伐の還元金の受け取りに時間がかかるのはなぜか。

A、間伐補助金事業には2種類あり、年1回の申請事業は時間がかかるのが現状。



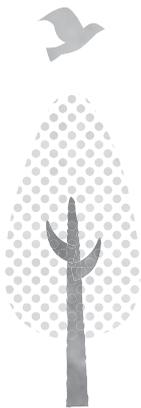
《矢島地区 土田氏》

Q、松くい虫の被害はどうか。

A、各地で少しずつ見られる。昔から比べると松の本数自体が減っているの所以对的に減っているように思える。県や市の対策事業は継続して行っている。

Q、オリンピックに向け秋田からの原木等を出す目途はどうか。

A、上小阿仁のスギを何十本か使う事がわかっている。他の情報が入った場合お知らせします。



第24回 労働安全衛生大会

「ゼロ災を誓おう」



第24回労働安全衛生大会が6月22日に由利町の善隣館を会場に開催されました。年に1度開催されるこの大会は、安全に対する意識をより高めるために、技能職員・事務職員を対象に開かれています。

組合長の挨拶に続き、優良運転者への表彰が行われ、大会最後には、代表職員が安全宣言を行い、労働災害ゼロを誓いました。



安全講話



講師 原田 武哉 氏

安全講話では、本荘労働基準監督署 地方産業安全専門官 原田武哉氏を講師としてお招きし、「林業における労働災害防止について」と題し講演いただきました。県内の労働災害の具体的な事例を取り上げながらお話いただき、事故を未然に防ぐための意識改革に繋がる有意義な機会となりました。職員一丸となり、労働災害ゼロを目指してまいります。

優良運転者表彰

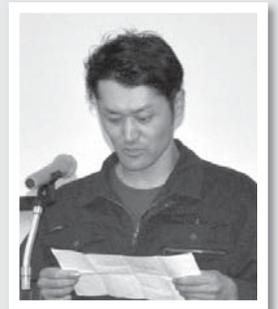
■無事故無違反

15年	五十嵐	仁	(加工課技能職員)
10年	植田	潤	一 (加工課)
	三浦	淳	(林販課技能職員)
	小川	喜彦	(加工課技能職員)
	熊田	聖二	(林販課技能職員)



【大会宣言】

林産班 原田智和
私達は、安全管理の重要性及び労働災害防止活動を確認し、本大会の開催を契機に無事故・無災害の決意を新たに、災害防止対策を全力で取り組む事をここに宣言致します。



「 新たな視点でみつめる職場
創意と工夫で安全管理
惜しまぬ努力で築くゼロ災 」

第24回 本荘由利森林組合造林コンクール開催要領

1. 趣 旨

この造林コンクールは、健全な活力ある優良林分を造成し、良質材生産を志向した保育作業の合理化と技術の向上を図り、由利地方民有林の森林整備事業の推進と実績を高めるため開催し、合わせて所得向上に貢献することを目的とする。

2. 名 称 本荘由利森林組合造林コンクール

3. 主 催 本荘由利森林組合

4. 実施期間 申込：平成30年 9月1日～平成30年 9月30日
審査：平成30年10月15日～平成30年11月20日

5. 実施方法

① 参加資格

本荘由利森林組合組合員とする。（旧由利地方森林組合及び本荘由利森林組合主催の造林コンクールで入賞した林分は同一部門での申込みはできません。）

② 参加林分の基準

※平成29～30年度中に施業を実施した林分に限る。

A 人工林

- (イ) 樹 種……スギ
- (ロ) 面 積……0.10ha以上
- (ハ) 林 齢……植栽後7年生以上

B 育成天然林

- (イ) 樹 種……広葉樹
- (ロ) 面 積……0.10ha以上
- (ハ) 林 齢……25年生以上

③ 参加部門

- 幼齢林の部……7年生～9年生
- 枝打ちの部……11年生～30年生
- 保育間伐の部……21年生以上
- 収穫間伐の部……21年生以上
- 育成天然林の部……25年生以上

④ 参加申込

各支所に備え付けの参加申込用紙に記入の上、各支所経由で申込みものとする。

⑤ 審査方法

審査委員長は、由利地域振興局農林部森づくり推進課長に依頼し、森づくり推進課員及び森林組合職員をもって審査するものとする。

⑥ 審査基準 別に定める。

⑦ 表 彰

組合長は、審査委員長からの審査結果報告に基づき入賞者を決定し、次により表彰するものとする。
・最優秀賞（由利地域振興局長賞）・優秀賞（由利森林管理署長賞）・優良賞（県森連合会長賞）
・入賞（森林組合長賞）・奨励賞（森林組合長賞）

注：参加林分の状況などにより、入賞に至らない場合もあり得る。



イワフジ工業



住田町庁舎

今年度は県外の林業情勢や、取組みなどを視察しました。その他にも、きのこで有名な方にお話を伺い、市販では取扱いがないきのこ栽培の様子も見学することができました。

☆盛岡広域森林組合（岩手県盛岡市）
盛岡広域森林組合概要・きのこについて

☆住田町（岩手県住田町）
木造庁舎・林業日本一への取組み

☆イワフジ工業株式会社（岩手県奥州市）
林業機械メーカー

7月26日～27日、総会及び視察研修会を開催し12名の方々に参加いただきました。視察内容は次の通りです。

本荘由利森林組合
林業研究会
第21回通常総会及び
視察研修



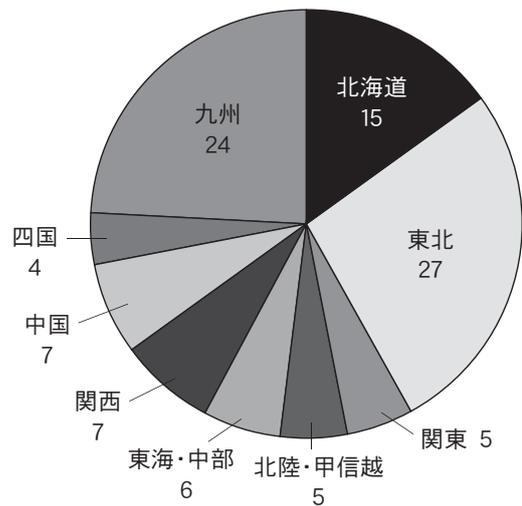
近年の国産材をめぐる動き（3回目）

■ 表-1と図-1に、平成28年度の国産材の「樹種別」と「地域別」の生産量の現状を示しました。

表-1 国産材の樹種別素材生産量 単位:万㎡

樹種	生産量	比率 (%)
スギ	1,185	58
ヒノキ	246	12
カラマツ	231	11
エゾ・トド松	101	5
アカ・クロ松	68	3
広葉樹	219	11
その他	16	—
計	2,066	100

図-1 地域別の国産材素材生産量



※ 円グラフ内の数値は全体に占める比率を表す。

※ 地域別の生産量は公表された数値がないため、林業関係新聞等のデータをもとに推計したものです。

■ 図-1の地域別生産量では、東北（6県）が545万㎡、九州（7県）が498万㎡、北海道が313万㎡の順となっており、この3地域で全国の66%を占めています。その他の地域は、それぞれ100万㎡前後となっています。

■ ここ数年の東北6県の素材生産量は、年間500万㎡を超え、九州7県を追い越し、今や、秋田をはじめ、東北は、国産材の一大供給基地として、業界関係者から高い関心が持たれる地域となっています。

このような背景のもとに、大手企業の東北地域への進出も活発となっており、平成29年度だけでも、大型の製材や集成材工場、LVL工場、木製サッシ工場などが操業を開始したり、または進出計画の発表がなされています。

■ これらに加え、近年は、木質バイオマス発電施設の相次ぐ稼働をはじめ、丸太の海外輸出も平成29年度は、全国で約100万㎡に達するなど、国産材の需要は、ますます増大するものと予想されていますが、そのためには、素材生産などの労働力の確保と育成が大きな問題となっています。



木材市況情報 (平成30年)

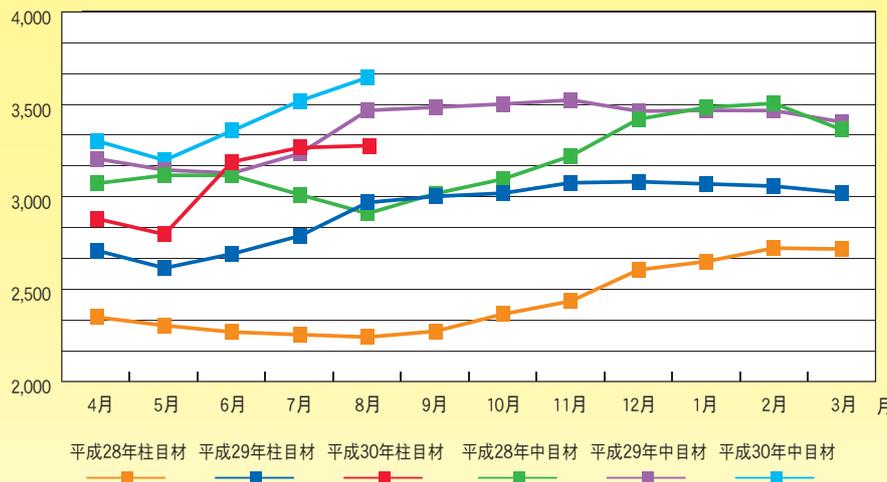
単位：円、上段（石当り価格）
下段 m 当り 価格

樹種	材長 m	径級 cm	7月3日			8月2日		
			本荘由利木材流通センター			本荘由利木材流通センター		
			高値	安値	平均価格	高値	安値	平均価格
スギ	3.65	14下	(2,004) 7,213	(2,002) 7,208	(2,003) 7,210			
		16~22	(3,287) 11,833	(2,636) 9,489	(3,218) 11,583	(3,284) 11,824	(3,297) 11,803	(3,282) 11,814
		24~28	(3,569) 12,850	(3,556) 12,802	(3,653) 12,826	(3,656) 13,162	(3,598) 12,954	(3,643) 13,113
出材量・販売量・販売率			1,132m ³ (4,075石)・1,130m ³ (4,068石)・99%			1,025m ³ (3,690石)・1,025m ³ (3,690石)・100%		

7月：各製材所とも原木不足の中、常連の量産工場と山形県、新潟県の業者が参加し、一本売りを除き完売。全径級とも強含みで推移しており、16~22cmで11,800円/m³、24~28cmで12,800円/m³前後といったところ。しばらくこの傾向は続きそう。
8月：山形県勢を含む6名の参加。原木不足のため量産工場が積極的な手当てに向かい完売。単価もやや強含みで、16~22cmで11,800円/m³、24~28cmで13,000円/m³前後。

木材価格の推移 (本荘由利木材流通センター)

石：円



*長級3.65m (12尺) 径級16cm~22cm 直材 (柱目材)
*長級3.65m (12尺) 径級24cm~34cm 直材 (中目材)

	柱目材			中目材		
	H28年度	H29年度	H30年度	H28年度	H29年度	H30年度
4月	2,357	2,716	2,886	3,076	3,205	3,304
5月	2,312	2,621	2,802	3,119	3,140	3,200
6月	2,277	2,679	3,192	3,119	3,131	3,359
7月	2,253	2,794	3,218	3,015	3,236	3,563
8月	2,250	2,873	3,282	2,914	3,466	3,643
9月	2,268	3,008		3,021	3,485	
10月	2,373	3,023		3,099	3,502	
11月	2,443	3,079		3,223	3,524	
12月	2,611	3,085		3,421	3,464	
1月	2,658	3,073		3,484	3,468	
2月	2,728	3,061		3,506	3,467	
3月	2,723	3,026		3,365	3,408	

森林組合だより 平成三十年九月二日発行 印刷・筒由利印刷

総務課からのお願い

賦課金納入時期が過ぎております。未納の方は早急に納入をお願いいたします。

【取扱金融機関】

- 秋田銀行管内各支店
- 北都銀行管内各支店
- 羽後信用金庫各支店
- 山形銀行本荘支店
- きらやか銀行本荘支店
- 秋田しんせい農業協同組合各支店



上記金融機関または、森林組合各支所で
お支払下さい。

6月9日~10日に福島県で行われた行事に林業研究会会長と事務局の2名が参加しました。
後継者大会では福島県の復興に思いを寄せた発表が印象的で、力強い発表が行われました。
植樹祭は天皇后両陛下のご臨席のもと、全国から約800名が参加しました。復興のシンボルとして行われた植樹祭では、クロマツなど防災林や、地域ゆかりの樹種が参加者の手で植えられました。
震災や原発被害、風評被害など数多くの問題を抱えながら、復興を目指す福島県民の思いと努力を垣間見た2日間でした。



全国後継者大会並びに
全国植樹祭に参加